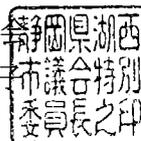


写

湖議第 239 号
令和7年2月20日

湖西市議会議長
馬場 衛 様

議会活動推進特別委員
委員長 竹内 祐子



議会活動推進特別委員会調査報告書

本特別委員会の調査が終了したので、会議規則第107条の規定により別紙のとおり報告します。

議会活動推進特別委員会 調査報告書

1. 活動期間

令和5～6年度

2. 調査研究の内容

- (1) 議員定数について
- (2) 議会運営（先例集等）の見直しについて

3. 活動実績

年	月日	会議等	主な内容	資料	
R5	6. 21	委員会	役員選任 ほか	資料 2	
	7. 5	勉強会	調査研究の進め方・方向性について		
	7. 24	勉強会	議員定数の経過・議員なり手不足等の現状と課題整理		
	10. 23	勉強会	今後の具体的な活動内容の議論		
	11. 1	研修	テーマ「議員定数」		資料 3
	11. 17		議長へ提案書を提出		資料 4
	12. 25	勉強会	今後の活動計画協議		
R6	1. 26	勉強会	意見交換会等の実施検討 ほか	資料 5・7	
	4. 11	勉強会	意見交換会の進め方 ほか		
	4. 24	意見交換会	対象：湖西市商工会女性部・青年部		
	6. 25	勉強会	意見交換会振り返り ほか		
	7. 12	勉強会	先例集の見直し ほか		
	7. 31	意見交換会	対象：教育委員		資料 7
	8. 2	意見交換会	対象：湖西地区労働者福祉協議会		資料 6・7
	10. 21	行政視察	大阪府大阪狭山市		資料 8
	11. 18	勉強会	視察振り返り・先例集見直し ほか		
	12. 2	勉強会	議員定数について協議 ほか		

4. まとめ（結論）

(1) 議員定数について

議員定数は次期任期から削減（2人または3人減）する。

議員定数削減に伴い、議会の組織体制や運営について見直しが必要である。活発な議論ができる体制を整えるために常任委員会の数（2委員会体制）を合わせて今後検討していく必要がある。

〈議員定数議論の経過概要〉

湖西市と新居町合併後10年ほど経過を迎えるにあたり、令和元年度から議員定数の見直しについて継続して議論が行われてきたが、本市の人口規模や議会運営体制の維持を考慮すると現状の議員定数を変更するまでには至らなかった。しかし、年々議員のなり手不足の問題も浮き彫りとなっており、当委員会において次期選挙に向け議論を再開することとした。本市議会の過去の定数改正の経過や全国の地方議会の定数・報酬の現状を調査し、議員定数の在り方を学ぶために全議員を対象とした議員研修を実施した。また、市内各種団体との意見交換や、行政視察を行い、議員定数やなり手不足について議論を重ねてきた。（詳細は別添資料参照）

その他（議員のなり手不足）の意見

- ・大きな課題は議会や議員の実際の活動が市民には分かりづらく、周知が不十分なため議会に対する理解や信頼が十分に得られていない。議会が身近に感じられるよう、市民の意見や要望を広く聞く取組をより充実させることや、子どもの頃から議会に触れる教育機会を設けるなどの対策が必要である。
- ・報酬改訂の議論が30年以上なされていないこと、人口や産業構造等が同規模である類似団体の報酬額との比較や、市の財政状況、社会情勢等を見極め、現報酬額が適正かどうか報酬審議会における審議を依頼するべきと考える。

(2) 議会運営（先例集等）の見直しについて

課題の洗い出しをし、請願・陳情に係る手続きや議員の役割の明確化、一般質問の通告手順の見直し、本会議において使用する参考資料について明記するなど各種運用の見直しを行った。

【委員構成】

竹内祐子(委員長) 神谷里枝(副委員長) 馬場衛 菅沼淳 福永桂子 三上元

議会活動推進特別委員会 活動の経過

R5.4

市議会議員選挙

議員定数 18 人に対し立候補は「定数 + 1」

なり手不足は全国的に深刻化。立候補者数が少ない湖西市も直面している課題。対策が必要。

R5.6

議会活動推進特別委員会 設置

議員定数・なり手不足等の議会の在り方について協議開始

資料 2 参照

R5.11

議員研修「議員定数について」

資料 3 参照

議員定数やなり手不足について、湖西市の現状や考え方を学ぶ。

議会活動特別推進委員会から議長へ提案

資料 4 参照

議会として取り組むべき方針を提案

R6.4

湖西市商工会(女性部・青年部)との意見交換

資料 5 参照

R6.7

教育委員との意見交換

市の課題や議会の在り方（なり手不足や若い世代の議員が少ないことなど）について、各種団体の皆様から様々な声を聴きました。

資料 7 参照

R6.8

湖西地区労福協との意見交換

資料 6 参照

R6.11

大阪狭山市議会視察

資料 8 参照

議員定数の見直しを含めた議会改革の取り組み・議会運営の具体的な取組を学び、湖西市議会の今後の在り方について方向性を見出すための参考とするため視察を行いました。

議員定数経過表

資料 2

年次	法定数	条例定数	実人数	平均年齢	改定年度	新居町
S47	-	22	22	55.09	S46.12湖西町 S47.1.1湖西市制施行	
S50	-	22	22	54.72		
S54	-	22	22	56.5		
S58	-	22	22	53.5		
S62	-	22	22	53.5		
H3	30	22	22	52		
H7	30	22	22	56.3		
H11	30	22	22	58.3		
H15	26	20	20	60.2	検討した機関：議会改革推進特別委員会 議案可決日：H14.9.30	
H16	26	20	20	61		
H17	26	20	20	62.2		18
H18	26	20	20	63		H18.3条例改正 H18.8～12人
H19	26	17	17	60.9	検討した機関：合併等地方分権対策特別委員会 議案可決日：H18.6.15	12
H20	26	17	16	61.9		12
H21	26	17	17	62.4		12
H22	30	17	24	64	H22.3.23新居町と合併 定数特例による補選：7名増員	12 7人湖西市議増員
H23	30	18	18	62.3	検討した機関：議員定数等検討特別委員会 可決日：H22.11.30	
H24	-	18	18	63		
H25	-	18	18	64.2		
H26	-	18	18	65.2		
H27	-	18	18	64.6		
H28	-	18	18	65.4		
H29	-	18	18	66.4		
H30	-	18	17	67.2		
R1	-	18	18	66.8		
H31	-	18	18	68.2		
R2	-	18	18	67.6		
R3	-	18	18	68.6		
R4	-	18	18	69.6		
R5	-	18	18	65.4		

※数字は、各年4月1日若しくは、選挙年は、初議会の日現在で集計

議員研修「議員定数について」概要

議会だよりNo.207 令和5年12月定例会号（1月31日発行）抜粋

議員研修会

これからの議会の在り方を考える ～議員定数となり手不足～

統一地方選挙の結果を踏まえ、議員のなり手不足などについて議会自らが危機感を持ち、議会一体となった対策が必要であると考え、「議員定数」をテーマとした議員研修会を令和5年11月1日（水）に開催しました。



▲講師：廣瀬行政研究所 代表 廣瀬 和彦氏

研修の概要

●湖西市議会の特徴は？

- 人口規模等から勘案しても現在の定数は多くはない
- 若い世代が少ない（平均 65.4 歳）
- 女性議員比率は高い（33.3%）

●見えてきた課題は？

- 議会、議員活動の周知不足
- 市民との接点不足
- 若い世代にとって職業としては報酬額が低い

そもそも議会や議員の活動実体を知らない…

●定数削減するとどうなるの？

- 議会体制の弱体化
- 監視機能の低下
- 削減＝少数精鋭とはならない

行政チェックがおろそかに？

●議員定数はどうやって考える？

- 人口比例方式が基本スタンス
- 適正な「常任委員会数 × 委員数」
- 議論を尽くせる体制の確保

●今後何が必要？

- 議会活動の見える化
- 若手のなり手不足の要因調査
- 住民との交流機会の創出
- 議員の調査研究活動の充実（資質向上）

議会を知ってもらおう！

研修振り返り（主な意見）

●報酬

- ・年収 700～800 万だと立候補者不足にならないと説明あり。
- ・子育て世代、若い世代の報酬を上げるのは一つの手法。
- ・なり手不足や湖西市の報酬の状況を報酬審議会に示し、意見を聞いては。

●定数

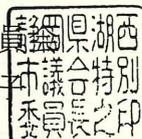
- ・議員定数は委員会人数ベースで考える。各委員会最低 5 人必要。減らしても 15 人。議会の役割を果たすため 3 常任委員会が必要。 など



湖 議 第 135 号
令和 5 年 11 月 17 日

湖西市議会議長
馬場 衛 様

議会活動推進特別委員
委員長 竹内 祐



議会活動推進特別委員会からの提案について

本特別委員会での調査研究テーマである議員定数の在り方や、議員のなり手不足について議論を進めるにあたり、早期に以下の取組を議会一体となって取り組むべきであるという結論に至ったため提案いたします。

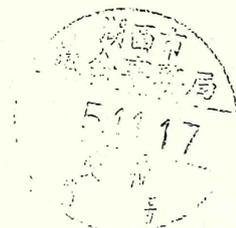
記

1. 提案理由と経緯

議員定数については、令和3年7月に実施した議員アンケートにおいて「現状維持」の回答が約7割と最も多く、当時の議会活動推進特別委員会では「次期選挙の状況により、必要に応じて専門の特別委員会を立ち上げて、議論すべき」との結論に至り、次期へ申し送り事項とした。

その後、令和5年4月に行われた市議会議員選挙において、実質無投票に近い選挙戦となり、議員のなり手不足等の問題が浮き彫りとなったことから、先日、議員定数の在り方を学ぶために全議員を対象とした研修を実施したところである。

本研修から、議員定数やなり手不足の議論を進めるにあたって、議会や議員の実際の活動が市民には分かりづらく、議会に対する理解や信頼が十分に得られていないことが大きな課題の1つであること、市議会の仕組みやその役割、活動実態などの周知が十分であるとは言えないことから、議会が身近に感じられるよう、市民の意見や要望を広く聞く取組をより充実させることが必要であることが分かった。



2. 提案内容（今後の方針）

(1) 広報活動について

取組内容	例
議会・議員活動の周知	・委員会活動の具体的内容（勉強会等）、議会の仕組みなどを議会だより等に掲載。 ・市民との懇談の場において活動紹介。

(2) 広聴活動について

取組内容	例
報告会から意見交換へ主取組をシフト	議員と話す場であることを前面に押し出していくなど、議会報告会の見直し検討。
議会と市民との交流機会を増やす	各常任委員会と市民（関連団体等）の懇談の機会を積極的に設け、その内容を紹介する。
議会傍聴者の声の収集	傍聴者アンケートの実施 ※過去実施実績あり

湖西市商工会と 4月25日 意見交換を行いました

実施の背景

● 立候補者の推移

議員定数18人に対し立候補は「定数+1～2人」で推移

選挙年度	H27	R1	R5
立候補者数	19	20	19

議員の担い手を増やすためにはどうしたら？

次期選挙では「無投票・定員割れ」が危惧される

● なり手不足の要因(議員研修より)

- ・ 議会に関心がない
- ・ 議会の理解や信頼が十分に得られていない
- ・ 現役世代には職業の選択肢に入らない など

課題



原因

- ・ 議会の周知不足
- ・ 市民との接点不足
- ・ 報酬額が低い

実施の目的

- 議会を知って
関心を持ってもらう
- 湖西で働く現役世代の声を聴く
- 議会自らかなり手不足の危機感を持ち、今後の対策の参考とする

議場にて議会の活動を紹介した後、議会の在り方や市の課題などについて様々な意見交換を行いました。

議会活動推進特別委員会(議員6名)と30～50代の**商工会女性部・青年部**の皆様15名が参加しました。

議員のなり手不足や議会に対する主な意見

- 職業として不安定
(今の報酬額では生活ができない)
- 議員のやりがい、活動の見える化が必要
- 議会、議員がどんな成果を出せているのか分からない

など



今後も、市内の他の団体とも引き続き意見交換をしていきます。

～これからの議会の在り方を考える～

教育委員・湖西地区労働者福祉協議会と 意見交換を行いました

湖西市議会ではこれまで議員定数の議論が継続して行われてきましたが、人口規模や議会運営体制の維持を考えると議員定数を変更するまでには至っていません。全国的に課題となっている議員のなり手不足や、議員定数と議会運営の在り方について、議会活動推進特別委員会が実施した意見交換会でいただいた意見を参考に、議会の考え・方針をまとめていきます。

議員報酬に対する主な意見

- 報酬が25年もなぜ変わらない？
- 生活に余裕がある人でないと議員にならない。
- やりがいだけでは議員にならない。

R6 意見交換会開催状況

4月	湖西市商工会青年部・女性部	15人
7月	教育委員	5人
8月	湖西地区労働者福祉協議会	20人

議員・議会活動周知に対する主な意見

- 興味を持たれる対策が必要。
- 活動のアピールは議員の仕事。
- 若い時は生活の課題を考えないため教育現場で教える場を持つべき。

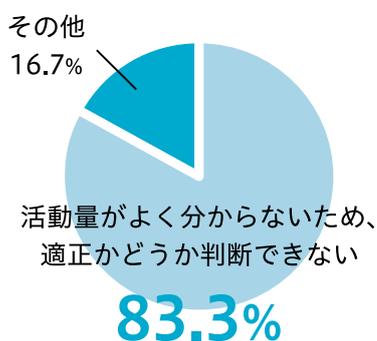


8月2日(金)

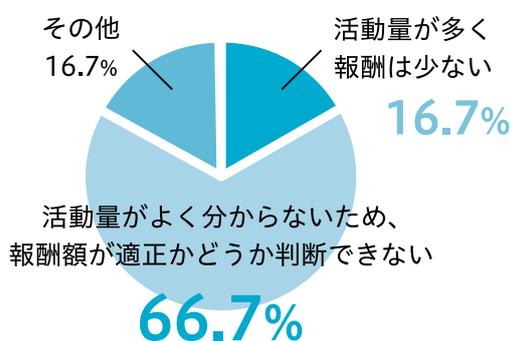
湖西地区労働者福祉協議会との意見交換会の様子

●意見交換会参加者アンケート(全3回)の概要

Q 定数はどう思う？



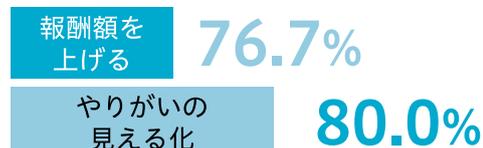
Q 議員報酬はどう思う？



Q なり手不足の理由は？



Q 立候補者を増やすには？



議会活動推進特別委員会

令和 6 年度

各種団体との意見交換会 参加者アンケート集計結果

意見交換会の目的

- ・ 議会を知って関心をもっていただく。
- ・ 議会みずからが議員のなり手不足に危機感を持ち、今後の対策の参考とする。
- ・ 議員定数と議会運営の在り方について意見を参考にする。

実施日	対象団体
4月24日	湖西市商工会青年部・女性部
7月31日	教育委員
8月2日	湖西地区労働者福祉協議会

参加者数等

	商工会	教育委員会	労福協	計
参加者数	15	5	20	40
回答者数	13	3	14	30
回答率	86.7%	60.0%	70.0%	75.0%

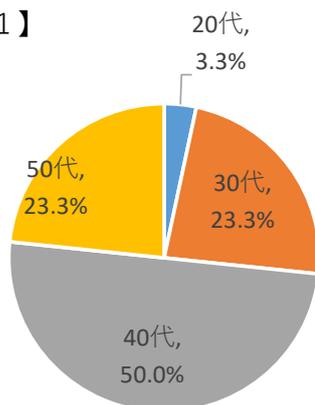
問1 年齢

	商工会	教育委員会	労福協	計	割合
20代			1	1	3.3%
30代	4		3	7	23.3%
40代	6	1	8	15	50.0%
50代	3	2	2	7	23.3%
計	13	3	14	30	100.0%

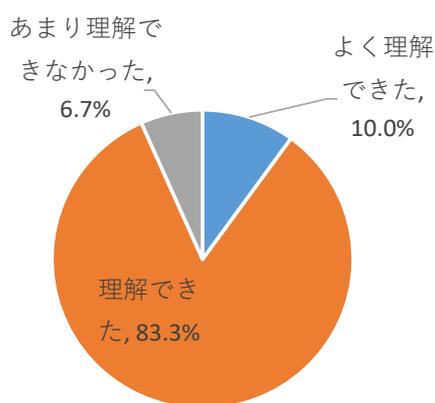
問2 議会・議員活動についてどの程度理解できましたか？

	商工会	教育委員会	労福協	計	割合
1 よく理解できた	2		1	3	10.0%
2 理解できた	10	3	12	25	83.3%
3 あまり理解できなかった	1		1	2	6.7%
計	13	3	14	30	100.0%

【問1】



【問2】



【記述】 [3.あまり理解できなかった]理由

商工会 ・短時間だったので全て把握することは難しかった。

労福協 ・具体的な話が出来なかった。

問3 議員定数についてどう思う？

	商工会	教育委員会	労福協	計	割合	
1 活動量が多く議員が足りない				0	0.0%	
2 活動量と議員数のバランスはとれている		1		1	3.3%	
3 活動量は少なく議員数は多い	2	1		3	10.0%	
4 活動量がよく分からないため、適しているかどうか判断できない	10	1	14	25	83.3%	
5 その他	1			1	3.3%	
	計	13	3	14	30	100.0%

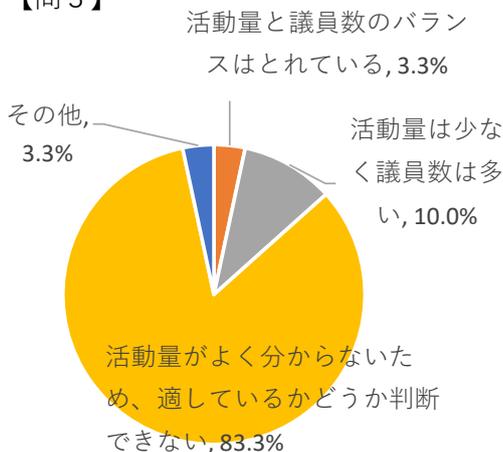
【記述】 [5.その他]の理由

商工会 ・ 議員一人一人の活動量が多いと思うが、議員数が適しているかは判断できない

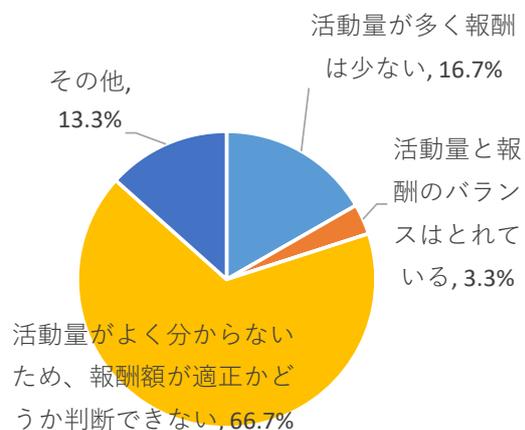
問4 議員報酬はどう思う？

	商工会	教育委員会	労福協	計	割合	
1 活動量が多く報酬は少ない	3	1	1	5	16.7%	
2 活動量と報酬のバランスはとれている		1		1	3.3%	
3 活動量は少なく報酬は多い				0	0.0%	
4 活動量がよく分からないため、報酬額が適正かどうか判断できない	8	1	11	20	66.7%	
5 その他	2		2	4	13.3%	
	計	13	3	14	30	100.0%

【問3】



【問4】

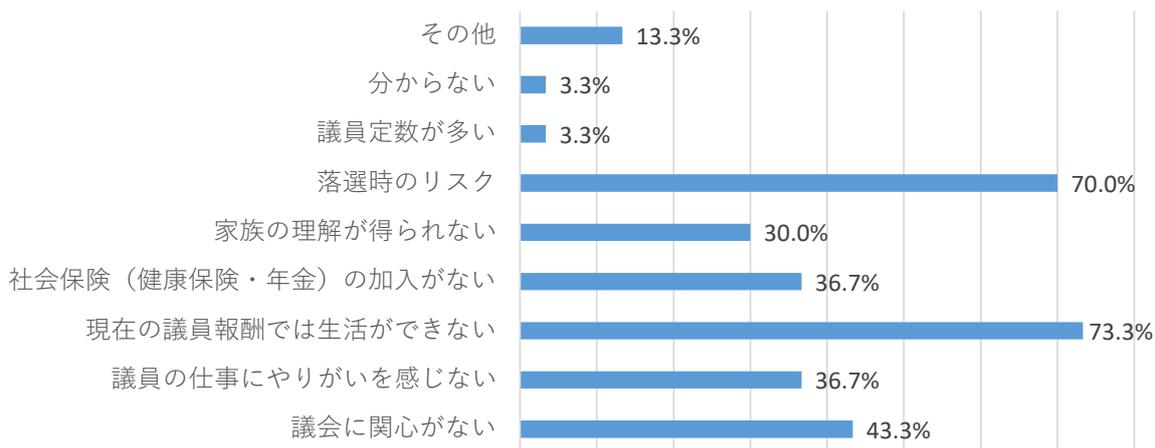


【記述】 [5.その他]の理由 (要約)

- ・そもそも不安定な職業に対して現状の報酬で社保加入もない状況では議員を目指す若者はほぼ皆無。4年後の保障がなく家業と兼務以外は、厳しい選択でしかない。
- ・人財を守るためには成果に対しての対価は支払われるべき。ただし議員報酬は市民の納得が得られるかどうかということが議論を難しくするところ。複雑な問題こそあらゆる声を聞いた上での判断となるかと思う。
- ・議員自身が報酬額を上げるべきだと考えているのかどうか掴めなかった。
- ・活動量や成果に対して報酬が比例しない(定額)であることに違和感を感じる。

問5 議員のなり手不足の理由はどうしてだと思っ？ 複数回答

	商工会	教育委員会	労福協	計	割合
1 議会に関心がない	6	1	6	13	43.3%
2 議員の仕事にやりがいを感じない	4	3	4	11	36.7%
3 現在の議員報酬では生活ができない	9	2	11	22	73.3%
4 社会保険（健康保険・年金）の加入がない	3	2	6	11	36.7%
5 家族の理解が得られない	3	1	5	9	30.0%
6 落選時のリスク	8	2	11	21	70.0%
7 議員定数が多い	1			1	3.3%
8 分からない			1	1	3.3%
9 その他	2		2	4	13.3%



【記述】 [1.関心がない]の理由 (要約)

- ・仕事内容がわからないのでやりがいや楽しみがわからない。
- ・これまで議会に関心を持つ瞬間がなかった。自分事として考えられていない。
- ・政治に興味がある人の絶対数が少ない。情報不足。
- ・議会・議員の活動の成果をより広く市民に伝わるようにすれば意義を感じて立候補する方も出てくるのではないか。

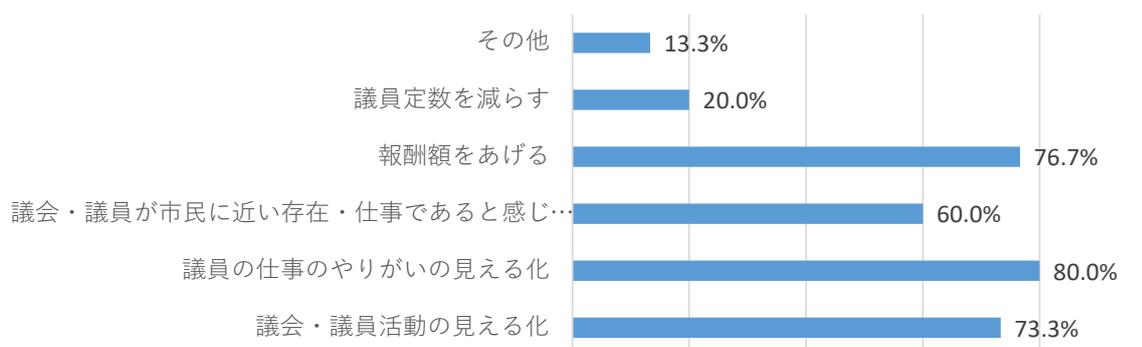
【記述】 [9.その他]の理由 (要約)

- ・大きな変化がないと世間へは改善が認識されづらいため、議員活動を頑張っても議員数が多くても意味があるのかと感じる。立候補して頑張る意味が見出せるのか疑問。
- ・議員活動の成果を聞くことがないので、議員のやりがいを知ることが少ない。
- ・議員という仕事そのものが認知されていない。議員になるための方法が周知されず分からない。
- ・理解するきっかけが少ない。情報が欲しい。

問6 どうしたら立候補者が増えると思う？

複数回答

	商工会	教育委員会	労福協	計	割合
1 議会・議員活動の見える化	8	2	12	22	73.3%
2 議員の仕事のやりがいの見える化	11	2	11	24	80.0%
3 議会・議員が市民に近い存在・仕事であると感じる	7	1	10	18	60.0%
4 報酬額をあげる	10	2	11	23	76.7%
5 議員定数を減らす	3	1	2	6	20.0%
6 その他	2		2	4	13.3%



【記述】 [6.その他]の理由 (要約)

- ・議員個々ではなく、議会がワンチームとして、1つのSNSやメディアで発信をすること。
- ・若年層の呼び込みは難しい。退職後の人など、生活に余裕があり、やりがいを求めている層に対して呼び掛け、議員になるルートを示しては。

問7 意見・感想 (要約)

- ・立候補者・若手が多い自治体と湖西市との違いを明確にし、そこで取られた対策の導入を検討しては。
- ・議員は自分には無理と思う先入観あり。議員の職場体験とかあれば良い。

- ・なり手不足は、仕事が一段落した中高年層に対し第二の人生として議員を勧める方が効率がいい。候補者が増えれば、おのずと若者の考えに共感してくれる人が選挙で選ばれていくと思う。
- ・なり手不足は報酬以外の部分に魅力を感じるように計らうべき。仕事内容(当選後のギャップを小さくする)、上下関係は厳しいかなど仕事上の疑問も説明した方が若い方へは響くのでは。現代に合わせた働き方を取り入れ、当選しなかった場合、その後の道標などの説明も重要。
- ・会社勤めの人が議員になるには、様々な調整が必要となり難しい。
- ・議員は、仕事の大変さ、市民から常に見られているプレッシャー、家庭が犠牲になってしまう割に、報酬が少ない。湖西市を心から今より良くしたいという強い思いがないと、市議会議員になりたいとは思わない。
- ・議員の男女比率は半々位が良いと思う。
- ・議員の仕事の魅力を発信し、イキイキしている姿を見せて、若い世代の議員が増える事を強く期待する。
- ・市民が「おもしろい」と感じる何か（目立つこと）をやらないと議会に興味はないまま。
- ・小・中・高の学生を対象とした教育等を長期的に実施し、議会・議員への関心を高めていくことが必要。
- ・高校生との意見交換や教育は交流の場としては少し堅苦しい。まずは、議会を学(傍聴)する、議場で子ども対親、先生対生徒、上司対部下など、ディベートをする空間として貸し出し体験をするのも楽しいのでは。席に座るだけでもワクワクした気持ちを持ったし、そこが第一歩として大事なこと。
- ・議会だよりは文字を減らして図などを用いて簡略化し読みやすくしてほしい。
- ・湖西市議会議員は個人の活動のみのイメージが強く、全体で何か大きく市に対して働きかけるような事はあるのか疑問を持った。
- ・議員の立場から見る世界と、現場の声とでは、やはり大きな違いがあると感じた。何かを進めるときは、現場に何回も出向き、色々な方のご意見を聞いて欲しい。
- ・今回の意見交換にて得られた内容は議員活動全体に対して氷山の一角にも満たないのだろうと思った。相当な時間、回数、世代、業種を網羅していかないと、意見交換会の狙った目的を果たせないのではないかとも思った。
- ・現役の議員の方たちと意見交換ができた事は貴重な体験でした。

別記様式(第 6 条関係)

令和 6 年 12 月 16 日

(宛先) 湖西市議会議長 馬場 衛 様

湖西市議会 議会活動推進特別委員長 竹内 祐子
議会運営委員会 神谷 里枝

研修成果報告書

湖西市議会議員研修要綱第 6 条第 1 項の規定により、次のとおり研修成果を報告します。

- 1 研修日時 令和 6 年 10 月 22 日
- 2 研修先 大阪狭山市議会
- 3 研修目的 議員定数の見直しを含めた議会改革の取り組み・議会運営について具体的な取組を学び、湖西市議会の今後の在り方について方向性を見出すための参考とする。
- 4 研修者 議会活動推進特別委員会委員・議会運営委員会委員
- 5 成果（具体的に）

大阪狭山市の主な特徴

人口規模 約 7.8 万人（2.6 万世帯）
 議員定数 14 人（H15 年 20 人から徐々に削減、R4 に現在の定数）
 組織 2 常任委員会（任期 1 年） ・ 各派幹事長会議
 特別委員会（重要課題に位置付けるもの・全議員が委員）
 議員報酬 700 万超（府内 下から 2 番目）
 会期 通年（定例会 1 回：会期を通年とする ※閉会期間あり）
 その他 市広報との合冊発行、正副議長室開放事業

議員定数・報酬

- ・大阪狭山市議会でも一定の議員数は必要とした。
- ・報酬は給与水準、物価が高い地域のため市民から高いという声はない。

■所感

- ・定数削減に合わせて報酬の見直しもすべき（報酬 700 万円の壁を感じた）。
- ・定数削減については常任・特別委員会の在り方、議員報酬の議論が必要。
- ・定数削減して報酬を上げる。
本市は議員のなり手がなく、議員の高齢化が課題。議会に魅力がない、報酬が低いなどが理由。報酬は報酬審議会において検討をお願いしたい。
- ・次世代の議員が安定して活動できる環境にしたい。
- ・当局と対峙するにはいろいろな専門的知見を持ち合わせる議員が必要。
極端な定数削減は市民生活の安心安全に貢献できず危険と考える。
- ・市民の多様な意見を反映できる議員数をどのように割り出すか研究する必要あり。

議会運営

- ・通年議会により、議長又は委員長の権限により必要に応じて本会議や常任委員会が開催でき、緊急の行政課題や災害等の突発的事態の課題に素早く対応できる。議会活動の拡充・機能の充実につながる。
- ・議員定数を 20 人から 14 人に削減するまでに、都度効率的な運営に努めてきている。
- ・会派性により議会運営がスムーズに行われている。

■所感

〈通年議会〉

- ・湖西市議会も導入の検討をしても良いと考える。
議会運営の負担や費用増、いつでも議会を開けることで、かえって計画的な議論や決議が行われにくくなる恐れもあるなどの課題も検討すべきである。
- ・通年議会は事務局負担や執行部側との調整など課題があるが、導入を推進したい。
- ・通年議会の採用を検討すべきかどうか、議論の必要性があるのか考えるところ。

〈会派制ほか〉

- ・議会運営には会派制のメリットが大きい。
- ・定数削減により少数精鋭で議会を機能させるためには、会派制の導入と常任委員会の数を要検討。会派制の導入により、意見のとりまとめの調整ができ、議員資質向上につながると考える。会派なしで全議員の意見をまとめることは困難。

- ・ 議員定数削減に進めていくなら、会派制の導入、議員資質向上、議員間討議、委員会の効率化を図る。
- ・ 重要課題に対する特別委員会（全議員所属）は見習いたい。

その他

- ・ 意見陳述する時間（請願（5分以内）、陳情（3分以内））あり。
- ・ 議会基本条例の見直しは全議員から「検証シート」を徴取。
- ・ こども議会は教職員の負担が大きい。H27から中止。
中学生の職業体験（議会事務局）、議場を校外学習の会場に提供。

■所感

- ・ 議会だよりを市広報と合冊とすると読者が増えるため、本市議会も検討しては。

など

